あまにゅう

青森県青年海外協力協会（AOCA）広報誌
平成24年10月号（2012.10）
発行：　青森県青年海外協力協会
編集担当：対馬千佳子（16－2 ボリビア）

任地と地域との架け橋に

会長　村木裕俊（H19-2 シリア 果樹栽培）

例年にない暑さに苦しめられた青森。しかしその暑さが過ぎ去ると秋を通り越したかのように涼しくなりました。今年も残すところ約２ヵ月。時間の経過は早いな、と感じてしまいます。

さて、今年もたくさんの行事に参加させていただいています。いつも多くの方に支えられながらの実施なのですが、年度初めにたてた計画をすべて実施できたかというとそうでもなく、個人的には力不足を感じる一年でもあります。ご迷惑をおかけしております。しかし新しいことにも挑戦させていただきました。例えばイベントにおける任国料理販売。今年は『新町ふれあい広場』にてシリア、ガーナ料理を販売いたしました。買っていただいた方々からは味もさることながら、「昔行ったことがあって懐かしい」とか「シリアは大変だけど頑張って欲しい」などの声をかけていただきました。様々な形で任国のことを知ってもらえるのは嬉しく、これからも続けていきたいな、と思いました。

『あなたたちは小さな大使』これは私がシリアへ赴任し、所長から言われた最初の言葉です。このように様々な形で任国と地域との架け橋になること。確かにこれは私たちにしかできない、今まさにその言葉を実感しています。

～青森に住んで、世界のことを考えながら決して途上国への情熱を忘れない～

青年海外協力協会広報誌「あまにゅう」は、主に青森県出身の青年海外協力隊の参加経験者からなる団体（AOCA）の広報誌です。この広報誌の発行を通し、県内在住のOB・OGの情報交換をするほか、私たちの活動に興味のある方々に私たちの活動についての理解を求めるとともに、国際協力・国際理解の輪を広げることを目的として発行しています。「あまにゅう」とは高山にあり、白い花をさかせる植物。名付け親は川村宏義氏。「あまにゅう」の初代編集者です。

平成２４年度１次隊＆２次隊が出発！

平成２４年度１次隊

【青年海外協力隊】

宇野 遥さん	（カメルーン・幼児教育）	黒石市出身
三浦 香菜子さん	（トンガ・日本語教師）	八戸市出身

平成２４年度２次隊

【シニア海外ボランティア】

高畑　幸さん	（ウルグアイ・花き栽培）	青森市出身

【青年海外協力隊】

石山 紗希さん	（ガボン・野菜栽培）	青森市出身
佐々木 香澄さん	（ベナン・看護師）	青森市出身

２４－１次隊壮行会

２４－２次隊壮行会

６月１８日に２４年度１次隊、９月２１日に２４年度２次隊の壮行会を日本海庄や青森駅前店で行いました。青森からは５人の方々が熱い思いを胸に任地へと旅立たれました。　壮行会ではOV会、応援団からたくさんの人が参加してくださいました。恒例の自己紹介では、みなさん新隊員より長くしゃべってしまうほどこちらも熱い人たちばかりでした。そして今回からOV会からの餞別としてAOCAの半纏を渡すことになりました。任地でも青森のことを忘れないでほしい、私たちが見守っているから安心して活動してほしい、という思いを込めた半纏です。これを着て是非日本文化紹介などしていただけるといいですね！そして帰国後は私たちと活動を共にしてもらえればな、と。皆さんの活動が実りあるものになることをお祈りしつつ、青森から応援していきたいと思います。

村木裕俊（H19-2　シリア　果樹栽培）

協力隊ナビを開催しました

６月２３日に八戸市はっちで、７月２１日に弘前市まちなか情報センターにて協力隊ナビを行いました。八戸市は４人、弘前市は５人の方が足を運んでくれました。

弘前では展示した写真を見ながら協力隊の体験について話しましたが、「写真はきれいで、自分の目で見てみたいけれど、そこに住もうと思うのがすごい。」と言われた方がいました。また、「何か得意なことを持って、英語が堪能でなければだめなのか。」という質問も頂きました。そんなイメージが強いようです。いえいえ、必要なのは好奇心と熱い思いと丈夫な体ですよね！

対馬千佳子（H16-2　ボリビア　村落開発普及員）

ソーラー式ワクチン冷蔵庫プロジェクトへご支援を！

活動中の伊藤隊員

トゥマトゥマ（お疲れ様です）！ガーナより伊藤です。

現在ガーナの東北、アッパーイースト州の保健局で働いています。日本の東北の方たち同様、本当に温かい方たちに囲まれてお世話になっていますが、環境はうって変わって正反対。サバンナ気候で雨も滅多に降らず、乾期（10 月～4 月）には湿度 0%、気温 45℃以上の日も少なくありません。熱風が吹き続け、地平線まで枯れ木と枯草が続く大地はまるで地獄絵図のようです・・。

そんな私の任地ですが、僻地で電気等のインフラが充実していなく、医療機関がワクチンを保管できず、予防接種率を改善できない問題に直面しています。そこで、雨天の少ないサバンナ気候を生かして、「協力隊を育てる会」の支援する「小さなハートプロジェクト」の枠組みで、ソーラー式ワクチン冷蔵庫を設置するプロジェクトを立ち上げました。この支援で僻地の子どもたちが健康に過ごせるよう貢献できればと思っています。是非ご支援ください！

伊藤真弓（H23-1　ガーナ　行政サービス）

【小さなハートプロジェクトご送金先】

①郵便振替　加入者名：社団法人　協力隊を育てる会　　口座番号：００１１０－９－５００５０９

※郵便振替用紙の通信欄に伊藤隊員のプロジェクト指定の旨を明記ください。

②銀行口座　三菱東京 UFJ 銀行　　新宿中央支店

口座番号：店番号４６９　口座番号　０２２１６１９

口座名義：シヤダンホウジン　キヨウリヨクタイ　オ　ソダテルカイ

※お手数ですが送金前にメール等で「協力隊を育てる会」へご一報ください。

『協力隊を育てる会』への連絡先　　メール：shien@sojocv.or.jp　電話　0120-918-380

小さなハートプロジェクトについての
詳しい情報は協力隊を育てる会ＨＰへ！
http://www.sojocv.or.jp/

伊藤さんのプロジェクトの最新情報は
AOCA ホームページで確認できます！
http://philo-sophia.me/aoca/

停電時にワクチンを州都内の冷凍庫に持ってくる郡担当者

TONGA　TIMES

Malo `elelei（マロエレレイ）こんにちは！２４－１でトンガの高校で日本語教師として働いています。トンガに来てから３カ月がたちました。トンガは今、冬で、少し寒いです。南国のイメージを抱いてたくさん半袖を持ってきた私は、数少ないカーディガンを着て「momoko（さむい）モモコ！」と言っています。

もう少ししたら夏になるようなので、楽しみです。トンガ人は親切で穏やかです。おしゃべりと食べることが大好きで、暇さえあればみんなで食べ物を囲んで、隣の娘は最近どうだ。今日とれたイモをあげるなど、世間話をしています。厳格なキリスト教徒なので、日曜日は休息日です。

教会の帰り！教会に行くとき、トンガ人はとびっきりのおしゃれをします。

今日は、日曜日の様子を紹介したいと思います。教会にもよりますが、私が行っている教会はだいたい１０時から１２時ぐらいまで。そのあとに、家族みんなで集まってウム料理を食べます。ウム料理はトンガの伝統的な料理です。タロイモの葉で野菜、肉、ココナッツソースを包んで、かまどに入れて蒸します。鶏肉やマトンなどいろいろ肉に種類はありますが、私の大好物は”lupulu”という牛肉を使ったウム料理です。

三浦香菜子(H24-1 トンガ 日本語教師)

ウム料理

中はこんな感じ！kumala(クマラ：さつまいも)と一緒にいただきます！

帰国報告をしました

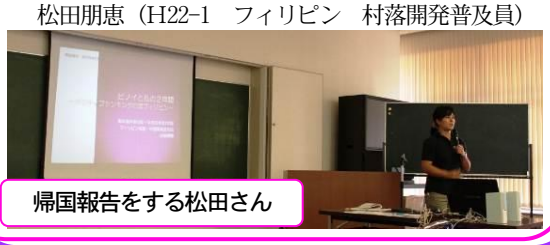
去る8月19日、『国際理解教育セミナー in 八戸』の後にお時間をいただいて、帰国報告を行いました。

活動内容として、マングローブ林の保全管理などの環境プロジェクトを簡単に報告したあと、任地フィリピンで感じたことの一つ、「フィリピン人のポジティブさ」についてお話ししました。お葬式なのに笑いが起きていたり、洪水が起こったらサーフィンしたりと、フィリピン人はとにかくポジティブなのですが、気が付けば私もバス事故にあったのに「話のネタ」が増えて良かったなー、と考えていたものでした。

セミナーでＯＶの松館さんのお話を聞くことができたのはもちろん、ＯＶの三浦さん、村木さんにも初めてお会いすることができ、とても貴重な経験でした。ウルスラの鳥谷部先生、ＯＶの越善さん、村木さん、調整本当にありがとうございました。

今は、八戸市立東中学校で講師として働いています。急なお話だったのですが、日本人の仕事っぷりに驚きつつも、奮闘しています。今後ともよろしくお願いします。

松田朋恵（H22-1　フィリピン　村落開発普及員）


帰国報告をする松田さん

クイズや民芸品も好評でした

７月14日【土】に八甲田丸港フェスタが開催されました。我々AOCA・JICA もブースを出しました。今年のメインは内山 OG（セネガル）が隊員時代に指導して現地の女性が作成した小銭入れや鍋敷きなどの民芸品販売でした。セネガルから取り寄せたのでフェスタぎりぎりに届き間に合いました。ブースを訪れた方々も興味深く手に取ってみて下さり、買い求める方もいました。協力隊の派遣期間が終わっても OBOG として支援できる方法があることを改めて考えされられました。今後も様々なイベントでセネガルの民芸品販売は続く予定です。応援よろしくお願いします。

クイズに参加すると
ヨーヨーつりが無料です

また、青年海外協力隊員が赴任した国々でとった興味深い写真を使ってのクイズに参加するとヨーヨーつりが無料となるので、子どもたちや家族連れもクイズにたくさん参加してくれました。写真を見ながら、「へえ」「これ何してるのかしら」など世界の様々な不思議を知って頂けたし、協力隊員の派遣されている国々についての関心も高まったのではないかと思います。質問の中には、協力隊の制度や県からの派遣実績などに関するものもありました。この日は天候にも恵まれ、180 名近くの参加者でした。雨のため一日だけの開催となりましたが開催する我々にも参加者にとっても楽しめた一日でした。

（協力者は、内山智絵 OG・相馬多一郎 OB・阿部悠二 OB・大賀佳子 OG と子どもたち・越善啓 OB）

大賀重樹（Ｈ５－１　ホンジュラス　小学校教諭）

しんまちふれあい広場に参加しました

始まる前は小雨も降る不安な天気だったのですが、始まってからはガンガン照りつける太陽に苦しめられるほどのいい天気、まさにお祭り日和でした！

今回は恒例のヨーヨー釣りやクイズ、写真展示のほかに、隊員 OG が赴任中に指導したセネガルの民芸品販売、飲食物の販売を行いました。

ヨーヨー釣りはやはり子どもたちに大人気。色とりどりのヨーヨーを楽しそうに釣っていました。クイズは隊員が任国撮ってきた写真より出題。見慣れない場所の写真人驚きながらクイズに答えていました。

セネガルの民芸品は青森出身の OG が現地で指導し、それを取り寄せたもの。帰国してもなお現地とつながっています。

飲食物は初の試み。

今回はシリアのコロッケ「ファラーフェル」とガーナのスープ「ライトスープ」を提供しました。はじめての味に驚く人や、食べたことがあり懐かしい、という人など、いろんなふれあいもありました。

シリア人!?
ではなく、村木会長でした

暑い中お越しいただいた皆様、協力してくださった皆様、ありがとうございました！

村木裕俊（H19-1　シリア　果樹栽培）

協力隊二次選考対策勉強会を開催しました

AOCA の二次試験対策講座は、主に面接の練習ですが、前回の二次選考対象者から情報をいただき、本番さながらの面接練習をします。さらに、面接官は大学で学生の就職支援をしており、面接指導を仕事としている、通称「行列のできるキャリア支援アドバイザー」（私ですが）なのです。

７月３０日に水産ビル６階の研修室で実施した二次試験対策講座は、AOCA 会長として受験者から前回の二次試験情報を得ている村木さん（写真左）、スリランカとウガンダでボランティア経験があり、自身も最近 JICA シニアボランティアの選考試験を受けた小鹿さん（同中央）と青森中央短期大学キャリア支援センター職員で JICA 歴１３年の相馬（同右）を面接官として実施しました。

今回の受講者は一人だけでしたが、地元の金融機関に勤めながらも「海外で困ってる人の役に立ちたい」という情熱を持ち続け、今回奮い立った方でした。

協力隊活動は僅か２年ですが、その経験を通して「協力隊経験を日本で生かし、青森の活性化に役立てたい。」と地元に戻ってきた我々ですから、「こういう人と仲間になりたい！」と私たち面接官は、前回の試験、自分の経験そして、JICA 側の視点を生かし、１対３の手厚い講座ができたと自負してます。

志望動機、自分の強みや弱点、家族の意見や帰国後のビジョンなど、自分の考えをしっかり伝えられる方でしたから、きっと合格したに違いない！

えっ、合格したって！　おめでとう佐藤さん！！

相馬多一郎（Ｓ62-2　コロンビア　村落開発普及員）

シリア人と思いを１つにした一年半

6 月 23 日に八戸市で開催されたグローバルセミナーで、派遣国シリアについて発表させていただきました。

シリアは 2011 年にチュニジアから始まった民主化運動の影響で、現在も国内で暴動が続いています。日々流れるニュースから「シリア＝危険な国」というイメージを持たれている方もいらっしゃると思います。そのイメージを払拭する為に自分にできることはニュースには映らないシリアの姿を伝えること。当日はシリア人の日常のことや活動のことなどを発表させていただきました。

参加して下さった学生から後日感想文が届き、「シリアのこどもたちや人々が心配です」とコメントをいただきました。遠いシリアのことを身近に感じてくれたこと、心配してくれた気持ちにとても嬉しくなりました。

シリアに一日も早く平和が戻る事を願っています。開催にあたり、ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

小笠原直子（H21-2　シリア　幼児教育）

国際理解教育セミナーin八戸

「ツバル」から「つがる」に帰ってきたということで、この 8 月 19 日、JICA 主催の国際理解教育セミナーでツバルの話をする機会がありました。

ツバルの問題は奥深く、「“温暖化で沈む”と一言で片付けられるもんじゃなかった！」というのが、働いて見てきた感想です。それをどうやって参加者に伝えるか？！越善さん、川村先生（バングラ OB）、八戸聖ウルスラの鳥谷部先生などと打ち合わせを行い、「ツバルを体感するために、八戸村とツバル村を作って比べたら？」とか、「ツバルに残るか去るかを考えてもらったら？」とか、いろんなアイディアが出され、私の持ってる小ネタはどんどんセミナーの形になっていきました。

当日のセミナーでは、参加者全員がツバル人になり切って、本気で自分の国のことを考えていました。

私はツバルのことは知っていても、それをうまく伝える方法は知らなくて、教員経験豊富な人達の知恵と、ツバルプロジェクト側から送ってもらったのパネルや資料、大学生の方たちのフォロー、参加者の好奇心に支えてもらいました。「人のふんどしで相撲をとる」とはこの事ですが、私自身、とても勉強になったセミナーでした。

プロジェクトニュース

http://www.jica.go.jp/project/tuvalu/0802778/index.html

松舘文子（S61-1　タイ　人形制作）

多文化共生フォーラムのお知らせ

11 月 7 日（水）10 時からは、「多文化共生フォーラム」が開催されます。

皆さん、「多文化共生」って聞いたことがありますか？私も初めて耳にする言葉でしたが。青森にも外国人がたくさん暮らしています。青森には素晴らしい文化があり、外国人の方たちも青森に魅かれて住んでいると思いますが、彼らの文化も活かせたらもっといい青森になるのでは？そんなフォーラムです！盛りだくさんのプログラムで、ここには書ききれませんが、詳細は国際交流協会 HP をご覧ください。ぜひご参加お願いします！！

松舘文子（S61-1　タイ　人形制作）

今月以降の主な予定と情報

１０月２０日(土)	ＪＩＣＡボランティア秋募集説明会（青森市　水産ビル６階）
	中学生国際協力エッセイコンテスト　１次審査会（青森市　水産ビル５階）
１０月２１日(日)	第２回市民ボランティア交流まつり（弘前市　弘前市民参画センター）
１１月　７日(水)	多文化共生フォーラム（青森市）
１１月	ＪＯＣＡ評議員東北ブロック会議（仙台市）
１２月	ＡＯＣＡ忘年会（むつ市）
	二次選考試験対策勉強会（青森市）
	ＪＩＣＡボランティア壮行会（青森市）
１月	ふるさと宅配発送（青森市）

ソーラー式冷蔵庫プロジェクトの最新情報も！

青森県青年海外協力協会 facebook 始めました